

第37回本試験ライティング問題 模範解答例

2018年10月24日に行われました、第37回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回以降の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

(https://crowd-kentei.or.jp/about_test/grading/)

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、是非ご参照ください。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】新幹線について240文字以上300文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】新幹線を利用して、旅行に出かける方も多いのではないのでしょうか。

キーワード1：駅弁

キーワード2：旅行

【模範解答1】263文字

帰省や旅行の為に新幹線を利用する方は多いのではないのでしょうか。新幹線は短時間で長距離を移動できる上に車内の飲食も自由となっています。その為、乗車前に駅弁や、お茶、ジュースなどの飲み物を購入し車内で家族や友人と楽しく食べる、などを経験した方も多いでしょう。

他にも、新幹線の車窓から見える景色を観覧することも楽しみ方の一つと言えるのではないのでしょうか。車窓からの移り行く景色を見ることによって、日々のストレスから解放されたり非日常な感覚を味わったりすることも出来るでしょう。皆様も休日に新幹線の旅に出かけてみてはいかがでしょうか。

【模範解答2】245文字

新幹線は飛行機よりも気軽に乗れ、数時間で遠くまで行ける便利な乗り物です。窓から外の景色を眺めたり、駅弁を買って食べたりする楽しみもあることから、遠距離旅行の際に敢えて新幹線で、という人も多いのではないのでしょうか。新幹線の座席には、自由席と指定席の2種類があります。自由席には自分で好きな座席を選べると

いうメリットもありますが、混んでいる時期には席が確保できない場合もあります。夏休みや年末年始といった混雑期には、旅行の予定が決まった段階で、できるだけ早めに指定席を買っておくと安心でしょう。

【模範解答 3】 270 文字

ゴールデンウィークや年末年始などの大型連休になると、多くの方が帰省したり旅行に出かけたりします。その時の交通手段としては各種ありますが、移動時間を短縮したい時は飛行機を選択する方が多いのではないのでしょうか。一方、敢えて新幹線を利用する方もいらっしゃるようです。それは、時間をかけて旅をする醍醐味が味わえ、車中で駅弁など食べながら景色が楽しめるからです。駅弁とは鉄道駅や列車中で販売されている鉄道旅客向けのお弁当で、各都道府県のご当地グルメを楽しむことができます。新幹線で外の景色を楽しみつつ、更に駅弁とともに楽しむのも通ではないでしょうか。

【問.2】 和食について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- *文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *キーワードは必ず文章内で使用してください。
- *書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 今まで和食を食べたことがないという方は、少ないのではないのでしょうか。

キーワード 1 : 伝統

キーワード 2 : 世界

【模範解答 1】 245 文字

和食とは日本の伝統的な食文化のことです。基本的には、白米を主食として、肉、魚、卵などのタンパク質が摂れるものが主菜となります。そして、副菜として野菜、大豆、海藻などを使った料理でビタミン、ミネラル、食物繊維などをたっぷりと摂取します。調理法も、焼く、煮る、炒める、揚げる、茹でるなど豊富です。バランスよくさまざまな栄養素を摂取できること、また洋食と比べてカロリーが抑えられることなどから、和食は世界の中でもヘルシーな食事として注目を集め、特に寿司は人気の高いメニューであると言われています。

【模範解答 2】 269 文字

世界的にも和食は人々から愛される料理の一つではないのでしょうか。和食と言っても、家庭で手軽に食べられるものからプロの料理人によって作られる高級なものまで様々です。また味つけはもちろん、健康的な面でも注目を集める料理です。家庭ごとに味付けが違ってきて、それが「おふくろの味」として思い出になっている人もいるのではないのでしょうか。

そして、細かい技術を得意とする日本人の特徴を活かした、繊細で美しい盛り付けに魅了される外国人も少なくありません。日本の伝統的な食文化である和食は、これからも人々の生活になくてはならないものとなっていくことでしょう。

【模範解答 3】 285 文字

日本人にとって最も馴染みのある食事といえば、和食ではないのでしょうか。和食を口にすると心も体も落ち着く、と考える日本人は少なくありません。そんな和食が、日本人の伝統的な食文化として、2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

登録された理由として、地域でとれた様々な食材を、持ち味を活かして調理していることや、日本の季節・伝統行事などと深く関係していること、栄養バランスが優れていることなどが挙げられます。最近では海外のスーパースターやセレブたちも和食が好きであることを公言したり、健康維持のために取り入れたりしているようです。今や和食は、**世界**からも注目されているのです。

【問.3】図書館について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- *文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *キーワードは必ず文章内で使用してください。
- *書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】図書館といえば、静かに受験勉強や読書をするといったイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。

キーワード1：本

キーワード2：勉強

【模範解答 1】 299 文字

図書館は、読書好きな人や、**勉強**に利用する受験生のための施設、というイメージがあるかもしれませんが。しかし現在、おしゃれな図書館が人気を集めていることをご存知でしょうか。絵本ばかり集めた図書館、洋書やデザイン書を集めた図書館、また、カフェが併設されてコーヒ一片手に好きな**本**を楽しめる図書館などです。一方で、絵本の読み聞かせ会や、本の感想を話し合う読書会など、地域交流スペースとしても活用されています。おしゃれなだけでなく、コミュニティとしての特性を活かしたイベントも次々に企画されている図書館も多いようです。図書館と一口に言っても、いまやその形態は変化しており、より魅力的な場として発展しているのです。

【模範解答 2】 292 文字

図書館では、静かに**勉強**したり**本**を読んだりして過ごしている方を見かけることでしょうか。また、小さな子ども向けの本や紙芝居も充実しており、図書館で親子の時間を過ごす方も見かけます。図書館で過ごしていると、小さな子ども、学生や主婦、社会人やお年寄りの方など、様々な利用者の目的に応じて設備が工夫されていることに気がきます。

一方利用者側としては、お互いに気持ちよく図書館を利用するために節度をもって過ごすことが大切です。子連れの場合は、周りへの気配りや子どもへの躰をすべきでしょう。また勉強する場合には、机や椅子は譲り合って使うことなど、お互いを思いやる気持ちを忘れずに利用するとよいでしょう。

【模範解答 3】 280 文字

勉強スタイルは人それぞれ異なる。騒がしい場所で勉強をした方がはかどる人もいれば、図書館のように静かな場所の方が良い人もいる。自宅で勉強する際には、ついついテレビを見てしまったり、マンガ**本**を読んでしまったりなど誘惑が多い。

しかし図書館は常に静寂が保たれていて、適度な人の目もあることから、勉強をする手を止めることは少ない。学生がどちらかの勉強スタイルを選ぶとすれば、やはり図書館での勉強になるのではないか。

更に近年の図書館では、映画や音楽鑑賞ができる所もあり、勉強嫌いの学生も図書館に通いやすくなるのではないだろうか。改めて図書館の活用が見直されるかもしれない。

【問.4】 気温の寒暖差について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*文字数は下にカウントされています。ご参考下さい。

*書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。

*この問題にキーワードはありません。自由に記述してください。

【書き出し例文】 気温の寒暖差が激しいと、体調を崩してしまう方も多いのではないのでしょうか。

【模範解答 1】 347 文字

季節の変わり目になると体調を崩してしまうという人も多いのではないのでしょうか。体調を崩してしまう原因のひとつが、気温の寒暖差です。たとえば、寒暖差が大きい秋では、日中は夏のような陽気で半袖でもいいくらいなのに、朝晩は上着が欲しいほどに冷え込むといった日もあるでしょう。日によっては、朝晩と昼の気温差が 10 度以上になる場合もあります。このような激しい寒暖差は自律神経の乱れを引き起こします。その結果、疲労を感じやすくなったり、風邪を引きやすくなったりというように、さまざまな体調不良につながってしまうのです。予防のためには、栄養のある食事、適度な運動、十分な睡眠を心がけましょう。また体が冷えると免疫力が下がりますので、寒い夜にはしっかりと湯船に浸かって体を内側から温めるようにしましょう。

【模範解答 2】 343 文字

10 月に入り、朝晩の気温の寒暖差から体調を崩してしまった方も多いのではないのでしょうか。日中は秋特有のカラッとした天気ですが、夕方には一気に気温が下がり肌寒い天気になります。そんな日にはどんな装いで出かけるべきか迷ってしまうかもしれません。そこでオススメなのが、カーディガンやジャケットなどの羽織物です。朝晩と日中で体温調節が可能な衣服は、自分の体調に合わせて使うことができ、とても便利です。また、脱着によってその人の印象もガラッと変わるため、メリハリもつきます。最近ではユニセックスのデザインも増え、男女問わず様々な種類から選ぶことができるようになり、より一人一人の個性を楽しむことができるようになっていきます。これからの季節、羽織物を活用して気温の寒暖差に負けず、健康に過ごしたいものです。

【模範解答 3】 371 文字

季節の変わり目に気温の寒暖差で体調を崩してしまう人も多いのではないのでしょうか。特に秋から冬にかけては、昼は過ごしやすけれど夜は冷え込んでしまい、いつの間にか風邪を引いてしまった、という経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

対策の一つとしては、一枚羽織るものを持ち歩くとよいでしょう。最近では持ち運びに便利な、コンパクトに畳めるダウンベストが人気なようです。女性ですと、ストールなどで対策をしている人も多いのではないのでしょうか。薄手のものから、ストールそのものがアウターとして活躍できる、しっかりした作りのものまで種類が豊富にあります。

寒暖差は湿度も関係してきますので、寒くなると乾燥にも注意しなければなりません。特に帰宅後はうがいと手洗いを徹底すると良いでしょう。寝るときも服装に気を付けて、汗をかかない程度に厚着すると良いでしょう。

ライティング問題-総評-

第 37 回 WEB ライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第 37 回 WEB ライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4 択問題において、高得点の方とそうでない方との差が明白に確認できています。また、合格された方はほぼ満点でした。4 択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難く試験上でも大きく減点対象となる内容（例えば主観的な表現など）が見受けられた他、誤変換や誤入力、短い文章の連続、助詞の使用方法や誤字など細かいミス、文章表現として不自然さが感じられるものが目立ちました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問 1 新幹線について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1 : 駅弁 キーワード 2 : 旅行

【解答例 1】

「窓から外の景色を眺めたり、駅弁を買って食べたりする楽しみもあることから、旅行に行く場合は好んで新幹線を利用するという人も多いのではないのでしょうか。」

上記解答例は、一文に助詞である「を」が多用された文章です。

【修正例 1】

「窓から外の景色を眺めたり、駅弁を買って食べたりする楽しみもあることでしょう。そのため旅行に行く場合は好んで新幹線を利用するという人も多いのではないのでしょうか。」

上記修正例では、全体的に長文でしたので文章を分けました。また助詞の数を整えるため、文意を鑑みながら自然な形で修正いたしました。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 2】

「車両によってはコンセントが席の近くにあり、窓の外を眺めたり、作業や睡眠を取りたい時には、カーテンをすぐ閉められる為、便利です。」

上記解答例では、対等関係を示す「たり」が2回使われておりません。また一文に助詞である「を」が多用された文章です。

【修正例 2】

「車両によってはコンセントが席の近くにあり、**また**窓の外を眺めたり、作業**したり**、睡眠を取りたい時には、**すぐにカーテンが**閉められる為、便利です。」

上記修正例では文意を鑑みながら助詞の数を整え、また「～たり」の表現を追加する形で整えました。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 3】

「日々のストレスから解放され非日常な感覚を味わうことも**出来でしょう。**」

上記解答例は、「出来でしょう」が誤入力になります。

【修正例 3】

「日々のストレスから解放され非日常な感覚を味わうことも**出来るでしょう。**」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「出来るでしょう」が正しい表現となります。

特に WEB ライティングでは誤字脱字が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「新幹線は、高速バスと比べ、移動時間が圧倒的に短縮**されます。**」

「旅行で新幹線を利用すると目的地でゆっくり滞在できるのがうれしい**ですね。**」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 4】

「旅行で新幹線を利用すると目的地でゆっくり滞在できるのがうれし**く感じられます。**」

上記修正例では「うれしいですね」の口語表現を「うれしく感じられます。」という文語表現に修正を行いました。このように口語表現と文語表現が混在してしまうと、場合によって読者に違和感を与えてしまいますので注意しましょう。

【解答例 5】

「新幹線で外の景色を楽しみながら、駅弁**と**楽しむのも通ではないでしょうか。」

上記解答例は、助詞が誤って使用されており、文意が伝わりづらくなっております。

【修正例 5】

「新幹線で外の景色を楽しみながら、駅弁を**を**楽しむのも通ではないでしょうか。」

上記修正例では文意を鑑みて、助詞「を」に修正いたしました。

このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

問 2 和食について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1 : 伝統 キーワード 2 : 世界

【解答例 1】

「カロリーや栄養バランスを考える**健康思考**の方が増えてきたため」

上記解答例は、「健康思考」が誤入力になります。

【修正例 1】

「カロリーや栄養バランスを考える**健康志向**の方が増えてきたため」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「健康志向」が正しい表現となります。

特に WEB ライティングでは誤字脱字が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「近年では一年を通して収穫できるような技術も**進歩**しました。」

上記解答例は、主語が不明確となっております。

【修正例 2】

「近年では一年を通して**食材が**収穫できるような技術も**進歩**しました。」

上記修正例では、「食材が」を追記することでこの文章の主語を明確にし、文意が通るよう修正いたしました。一文中で主語が不明確になると文章としては不完全となり、口語（しゃべり言葉）のように読者に取られかねません。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 3】

「料理に対する日本人の佇まいを感じる事が**できる**のではないのでしょうか。日本人の性質・気質から**出来上がった**伝統料理が和食だと言えるでしょう。」

上記解答例では1つの文章の中に「できる」「出来上がる」のように異なる表現が混在しています。

【修正例 3】

「料理に対する日本人の佇まいを感じる事が**出来る**のではないのでしょうか。日本人の性質・気質から**出来上がった**伝統料理が和食だと言えるでしょう。」

上記修正例では、漢字表記の「出来る」に統一しました。同一の文章内に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいます。

このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「ますます世界から**注目を集まっております**。」

上記解答例は、助詞の使用方法に誤りがあり、文意が伝わり難くなっております。

【修正例 4】

「ますます世界から**注目が集まっております**。」

上記修正例では、文意が伝わるよう助詞を修正いたしました。

このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 5】

「和食は日本**の**伝統であり、昔ながら**の**食材や味を世界に広めようと多く**の**方が力を注いでいます。」

上記解答例は、一文に助詞である「の」が多用された文章です。

【修正例 5】

「和食は日本の伝統であり、昔**からある**食材や味を世界に広めようと多くの方が力を注いでいます。」

上記修正例では、助詞の数を整えるため、文意を鑑みながら自然な形で修正いたしました。

読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

問 3 図書館について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1：本 キーワード 2：勉強

【解答例 1】

「**もし**皆様も予定がない暇な休日に図書館を訪れてはいかがでしょうか。」

上記解答例では、副詞の使用方法に誤りがあり、文意が伝わり難くなっております。

【修正例 1】

「もし皆様も予定がない暇な休日 **を迎えたら**、図書館に訪れてはいかがでしょうか。」

副詞「もし」は、一般的に「～たら」「～なら」などと組み合わせた表現を行います。そのため、上記修正例では文意を鑑みながら「～たら」を加える形で修正いたしました。

正しい文法で文章を書かないと、文章で伝えたい内容が読者に上手く伝わりませんので注意しましょう。

【解答例 2】

「小学校には、図書館が併設されている事が多く、本を借りる機会が沢山ありました。大人になり、本を借りて読むという機会がなくなり、図書館の利用も減っている方も多いと思います。」

上記解答例は、接続詞が適切に使われておりません。

【修正例 2】

「小学校には、図書館が併設されている事が多く、本を借りる機会が沢山ありました。 **しかし**大人になり、本を借りて読むという機会がなくなり、図書館の利用も減っている方も多いと思います。」

上記修正例では、接続詞「しかし」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 3】

「受験期になると、 **志望校合格ために**図書館を利用し、勉強している受験生が目立ちます。」

上記解答例では、必要な助詞が抜けてしまっております。

【修正例 3】

「受験期になると、志望校合格 **の**ために図書館を利用し、勉強している受験生が目立ちます。」

上記修正例では、文意を鑑みて自然な形で修正いたしました。

WEB ライティングでは一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「持っていない本 **が**たくさんあり、それを手軽に借りること **が**出来るの **が**魅力の一つです。」

上記解答例は、一文に助詞である「が」が多用された文章です。

【修正例 4】

「持っていない本がたくさんあり、それを手軽に借りられるのが魅力の一つです。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

【解答例 5】

「また、最近ではカフェを併設している図書館も出てきました。」

「図書館にもカフェがあるとゆっくりと本を楽しむことができそうですね。」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 5】

「図書館にもカフェがあるとゆっくりと本を楽しむことができます。」

上記修正例では「できそうですね」の口語表現を「できそうです。」という文語表現に修正を行いました。このように口語表現と文語表現が混在してしまうと、場合によって読者に違和感を与えてしまいますので注意しましょう。

問 4 気温の寒暖差について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「寝るときも服装に気を付けて、汗を掻かない程度に厚木すると良いでしょう。」

上記解答例では、「厚木」が誤字となります。

【修正例 1】

「寝るときも服装に気を付けて、汗を掻かない程度に厚着すると良いでしょう。」

上記修正例では、誤字を修正しました。「厚着」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「気温の寒暖差が大きい時には、」

上記解答例は、助詞の使用方法に誤りがあります。

【修正例 2】

「気温の寒暖差が**大きい時**には、」

上記修正例は、不要な助詞を削除する形で修正いたしました。

このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 3】

「実は、寒暖差を感じないと思われがちな夏や冬でも**暖差**を感じ、体調を崩している事もあると言われます。」

上記解答例は、「暖差」が誤入力になります。

【修正例 3】

「実は、寒暖差を感じないと思われがちな夏や冬でも**寒暖差**を感じ、体調を崩している事もあると言われます。」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「寒暖差」が正しい表現となります。

特に WEB ライティングでは誤字脱字が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「気候の良い時期**に急に**気温の下がる日があると、即座**に**自律神経が対応できず、身体を壊してしまいます。」

上記解答例は、一文に助詞である「に」が多用された文章です。

【修正例 4】

「気候の良い時期に急に気温の下がる日があると、即座**には**自律神経が対応できず、身体を壊してしまいます。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

【解答例 5】

「そのような時期には、化粧水や乳液**を**しっとりタイプのものに**変えたり**、美白重視から保湿重視に目的**を**ソフトし、お手入れの方法**を**見直すことも大事です。」

上記解答例では、対等関係を示す「たり」が 2 回使われておりません。また一文に助詞である「を」が多用された文章です。

【修正例 5】

「そのような時期には、しっとりタイプの化粧水や乳液に変えたり、美白重視から保湿重視に目的をシフトしたりして、お手入れの方法を見直すことも大切です。」

上記修正例では文意を鑑みながら助詞の数を整え、また「～たり」の表現を追加する形で整えました。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方の内、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、助詞の連続使用や使い方、表記ゆれ、口語表現と文語表現の混在、誤字脱字や誤変換などが多く見受けられました。

そして、文章表現として不自然さを感じさせる内容は、読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認となりやすい文章となります。特に文章中の主語は何なのか、が不明確になると不自然さが強くなってしまいますので注意しましょう。

他にも一文に情報を詰め込み過ぎてしまうと、助詞の連続使用など意図しないミスが多くなることがあります。ライティングを終えた際には文章の見直しを行い、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認するようにしましょう。